

毎日の暮らしにワクワクと感動をプラス!

カムナ通信

vol.35



発行日:令和4年5月1日
(毎月1日発行)
発行人:青木敬司
株式会社カムナ・プランニング/東京都文京区目白
台2-9-7-503
電話:03-3942-8633
info@kamuna-p.jp
<http://kamuna-p.jp/>
~コピー、転載、引用、配布はご自由にとどうぞ~

こんにちは。5月と言えばGW。今年は「ステイホーム」宣言が無くホッとしています。この調子で一日も早く、あらゆる世代の人が元氣よく社会活動を営める、のびのびとした日常を取り戻せますように...

さて今月は、私も開発に関わった、ちよつとユニークな新商品「ゼロリスト」を紹介致します。このシリーズは、この通信で何度か紹介した「ゼロ磁場発生装置」の最新作で、腕時計のように装着して健康と心の安定を支えるパワーグッズです。こう書くとなんやら怪しい...と思われがちですが、実は日米で特許を取得している確かな技術を応用した商品なのです。

開発されたのは、シックハウスや化学物質過敏症を解決する住まいの研究をされていた一級建築士の上森三郎さん。建材や工法を徹底的に追究しても理想の環境にはならず、行き着いた答えが、生命の源と言える水の活性化でした。本来のエネルギーを失った水道

水を瞬時に湧き水のようなエネルギーの高い水に変えるため、特殊加工を施したネオジム磁石を組み合わせてつくった活水装置が開発商品の第一世代です。ある医学博士がこの装置を絶賛し、重い皮膚トラブルや、糖による不調に悩まされている方にとっても喜ばれました。「ゼロリス

ト」はその原理を応用した超コンパクトサイズの進化版、第四世代の商品です。

この特許技術の鍵を握るのが文字通り「ゼロ磁場」。「ゼロリスト」は、磁力線が高速(光速)回転して生じる、台風のようなゼロ磁場(計測値で0ガウス)を採用しています。実は日本列島は多くのプレートがぶつかり合う、いわばゼロ磁場大国で、火山や温泉が多いのもその恩恵と言えます。特に長野県の伊那にある分杭峠は、気の研究の第一人者とも言われる科学者が、天然のゼロ磁場として取り上げたことがきっかけで話題となりました。ゼロ磁場は、気功で言う「気が発生している」とか、虚の世界と実の世界との橋渡しをする働きがあるなどと言われ、未だ科学的な解明は及ばないものの、各方面で未知のエネルギーの存在について研究が進められています。

この原理を実用化したのがゼロ磁場発生装置であり、その進化系が「ゼロリスト」です。腕時計のように装着すると、からだをめぐる流体にそのエネルギーが注がれる仕組みです。昨年から実施してきたモニターさんから「続々と驚きの声が寄せられています。あまりの反響に思わず「とんだけ〜」と叫びたくなりますが、そんな作用を起こすのは、人体に備わる生命力を引き出してくれるからなのでしょう。新時代の商品ですからまだまだあまり知られていませんが、混沌の世を元気に乗り切るためにお役立ていただきましたら幸いです。いつもありがとうございます。

株式会社カムナ・プランニング 青木敬司



NEWS & TOPIC KAMUNA PRODUCTS

ゼロ磁場発生装置の第四世代アイテム
人体をまるごとゼロ磁場化!

zerowrist

 -ゼロリスト-

<本体裏面に浮かぶ 八方放射の磁壁線>

「ゼロリスト」のゼロ磁場に浮かび上がる磁壁線(※)は「八方放射型」。この形は「転法輪(てんぼうりん)」とも呼ばれ、お釈迦様の説法を意味し、「邪を祓い魔を退ける、逆境を乗り越えるエネルギーの象徴」と言われています。



転法輪(てんぼうりん)

「ゼロリスト」は、国宝「信貴山縁起絵巻」に描かれている、醍醐天皇の病を癒したとも言われた高速回転の「法輪」が放つエネルギーをイメージし、独自の技術を応用して再現しました。



信貴山縁起絵巻

(※)磁壁線とは、本体に内蔵する特殊なネオジム磁石の組み合わせで生じる、複雑に干渉しあう磁力線に、磁性を持つ粉体が反応して描かれる線のこと。この磁壁線の形が、テラファイト各シリーズの特性を示しています。

「ゼロリスト」は、テラファイトシリーズの第四世代として誕生した、身につける人をゼロ磁場エネルギーで満たし、心身の健康と若々しさを支えるパワーグッズです。内蔵している特殊なマグネットから生じる磁力が、本体の周りを高速(光速)回転し、台風のようなゼロ磁場(動的ゼロ磁場)を形成します。そこに生じる特有のエネルギーが「ゼロリスト」本体に触れる体内にめぐる流体(※)にチャージされ、心身共に満たします。また、「ゼロリスト」は、大自然の周波数とも呼ばれるシューマン共振周波数との共鳴を促すことが確認されました。他にも脳波や血中酸素濃度の安定、気のめぐりの活性化などに期待できます。

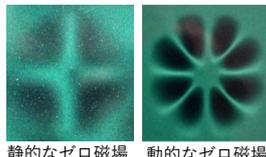
(※)流体とは一般的には液体や気体、液体と気体が混ざったものを言います。テラファイトシリーズは「流体の活性化」において日米特許を取得しています。

「ゼロリスト」のゼロ磁場の秘密☆

従来の「テラファイト」シリーズの多くは、磁力を拮抗させて生じるゼロ磁場(静的なゼロ磁場)で、磁壁線の形はカタカムナのマークに代表される十字を示しましたが、「ゼロリスト」は、磁力が回転することで生じる、台風のようなゼロ磁場(動的なゼロ磁場)を採用しています。こうすることで、磁力線が左図の赤矢印の方向に高速(光速)回転してゼロ磁場が生まれ、その情報を持つエネルギーが青矢印の方向



に流れます。このようにして装着する人に、ゼロ磁場エネルギーを供給するのです。



静的なゼロ磁場(カタカムナ) 動的なゼロ磁場(転法輪型)



■ゼロリスト

38,500円(税込)

サイズ:縦35x横30x厚さ8 (mm)
重さ:21.5g ベルトを含め37g
材質:ステンレス、レアアース(ネオジム)

磁石、貴金属、サファイアガラス、他
防水:10気圧防水
付属品:ベルト(シリコン樹脂)、磁気シート、ご活用の手引き

※ベルトは市販品と交換可能です。取付幅18mmのベルトをお選びください。→



Information & 広場

～「ゼロリスト」にまつわる気になる情報～



■「ゼロリスト」の開発者、 上森三郎さんにお聞きしました！

ゼロ磁場発生装置の最前線！混迷の世に生まれ
れたパワーグッズに秘める可能性。



上森三郎さん

「ゼロリスト」の開発のきっかけは、今から7年前、ハワイにある標高4205mのマウナケアという山に登った際に、同行者が高山病にかかって顔が青ざめ、体が硬直した時、テラファイトを手首にはめただけでビタリと症状が治まるという体験でした。実はこの後、私も同じ症状にかかりましたが、テラファイトを同様使用するとすぐに改善し、本当に救われる思いをしたのです。酸素濃度の低い環境に適応できず、心臓が止まりそうな状態が瞬時に改善されることはとても大きな発見でした。

昨今、感染症予防としてマスクの装着を求められていますが、酸素を十分に取り入れられないために生じる健康被害が指摘されています。人は空気中の酸素濃度が5%ほど低下しただけで、呼吸数増加、脈拍数増加、頭痛、吐き気、集中力低下が起きます。ドイツの神経学者は、酸素欠乏は永久的な神経障害を引き起こすとされています。血中酸素濃度が下がり、脳に酸素がいなくなると認知能力が下がることは明らかです。成長期の子供だけでなく、あらゆる世代の脳細胞に与える影響ははかり知れません。

このような時代を迎えた今、7年前の高山での体験が役に立ちました。実際に血中の酸素濃度を調べる計測器「パルスオキシメーター」を用いて検証したところ、酸素濃度の低下した人は「ゼロリスト」を装着して数分で改善されることが確認できました。マスクの有無に関わらず、酸素をしっかり取り入れることは、脳を正常に働かせる上で欠かせません。このような訳で「ゼロリスト」は常に身につけていられるように、腕時計のようなデザインにしました。

また、リラックスと集中を示す脳波として知られるα波を、3種類に分けて体系化した志賀一雅先生(工学博士)の立ち合いで行った脳波の検証において、「ゼロリスト」を身につけると大自然の周

波数とも呼ばれるシューマン共振周波数(7.8Hz)に導かれ、さらにその周波数で左右の脳が同調することも確認できました。

ゼロ磁場のエネルギーを体いっぱい満たして心身ともに活性化し、一人ひとりが自分らしさを取り戻して、いつまでも健康で若々しく、そして大自然や地球と共振して生きるために役立てていただきたいと思っています。

■「ゼロリスト」の喜びの声が続々!!



- 右の手首を捻ったのでゼロリストをつけていたら、じきに痛みがなくなりました。
- PC作業で左肩が凝るので、ゼロリストを左手首の内側に着けたらラクになりました。
- 階段を登ると鼓動が早くなり、気管も痛かったのが、それがほとんど無くなりました。
- ゼロリストが有る時と無い時では、肉体労働をしても疲れ方が全然違うので驚きです。
- 疲れを意識する時はゼロリストを着け忘れていた…ということが何度もあります(笑)
- 過度な物忘れで何を言っているかわからない友人のお母さんがすっかりしてきました。
- あと数日…と宣言された母に装着したら回復しました。
- 脈が不規則でしたが、ゼロリストをつけた翌日からあまり起きなくなりました。
- 草刈りの手伝いで山に登るだけで大変でしたが、これを着けると疲労感が全然違います。
- ゼロリストを腕につけていると、余計なことを考えなくなるように感じます。
- 親が体調を崩した時にゼロリストをつけてあげたらすぐに元気になり、喜ばれました。
- 気持ちが安定していて、悩んでいたことも大したことでは無いと思えるようになりました。
- ハードな仕事で血中酸素が93%まで下がったのですが、お陰で早くラクになりました。
- 今まで以上に集中力が増して仕事ははかどります。疲労感が少ないので助かっています。
- 週末に疲れが溜まり横になることが多かったのですが、最近はほとんど無くなりました。

感動のおすと分け

幸せになる4つの因子

慶應義塾大学大学院で心理学をベースとした科学的的手法で「幸せ」について研究している前野隆司さん。拝見した講演動画がシンプルで分かりやすく、素晴らしい内容でしたので紹介します。

幸せは「happy」ではなく「well-being」。well-beingには「健康(体)」「幸せ(心)」「福祉(社会)」の要素が込められています。前野さんは、幸せは目指すものと言われ、その条件として四つの因子を挙げています。

- ・ やってみよう因子
- ・ ありがとう因子
- ・ なんとかなる因子
- ・ ありのまま因子

「やってみよう因子」は、やりがいを感じることや、いきいきワクワクすることに取り組む。小さいチャレンジでOK。成功も失敗も成長の証。「ありがとう因子」は、感謝や利他性。利己的な人はある程度は望みが叶っても孤立無援に。

「なんとかなる因子」は、前向きで楽観であること。チャレンジ精神や未来志向につながります。「ありのまま因子」は、自分と他人を比べないこと。人は人、自分は自分。自分らしく、自分の強みを生かすことが何より大事。

もう一つ挙げていたキーワードが「俯瞰」。どんな困難に直面しても俯瞰できれば、解決策が見出せます。悩みや怒りといったネガティブな感情は人生に付き物ですが、心を落ち着けて、起きた出来事を俯瞰すると、それまで見えなかった選択肢や新しい道が見えてきます。

幸せの研究は世界中でされ、幸せを感じている人は感じていない人に比べて「7～10年長生き」「幸福度と共に免疫力もup」「仕事の生産性は1.3倍」「創造性は3倍」など、人生がゆたかになることばかりです。どの因子も分かりやすく、初期投資は0円。さあ今日から「幸せになる4つの因子」に取り組んでみてはいかがでしょうか。

【参考動画】Well-Being 幸福の4因子
前野隆司 TEDxShintomi (youtube)

今月の1冊

80歳の壁 和田秀樹著 幻冬舎新書

老年医学の専門家でおられる著者が、楽しく心ゆたかな老後を送るために必要な情報と知恵についてまとめた著作。人生100年と言われる昨今、日本人の多くが平均寿命までの約10年間を闘病や介護で望まない生活を送っている現実をふまえ、80歳を越えても幸せな晩年をおくるコツはズバリ「80歳を過ぎたら我慢をしない」。具体的には、「食べたいものを食べる」「血圧や血糖値は下げなくてよい」「ガンは切らない」「おむつを味方にする」「ボケることは怖くない」など。我慢を強いられてストレスフルな生活をおくるより、好きなことをして気楽に生きる方が、はるかに生活の質が高まるようです。がんも痴呆も、高齢になれば当然のこと。わざわざ戦う闘病から共病へシフトする提言は必読です。人生最大の恐れである「死」については“寝ていて起きてこない状態”こそが自然な旅立ち、と納得です。一人ひとりが人生のあり方を自ら決定して全うするための指南書のような一冊です。



カムナ・ナウ

テラファイトシリーズの新商品「ゼロリスト」が、つい登場いたしました！

テラファイト商品は家の中や、仕事の時、外出時には持ち歩くなどして毎日活用しています。以前から身につけていたのですが、待ちに待った商品です!! 実際身につけていると体が整います。整体に行った後のような感じ。そして心身ともにニュートラルな状態にしてくれるので、常にベストコンディションな毎日です。(ゆ)